

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題o-トルイジンのオオミジンコ(*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験試験番号

91533

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： o-トルイジン
- 2) 暴露方式： 流水式(試験液を連続的に供給する方式)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 連 数： 1試験区につき4連
- 6) 生 物 数： 40頭／1試験区(1連につき10頭で1試験区40頭)
- 7) 試験濃度： 0.40, 0.126, 0.040, 0.0126, 0.0040, 0.00126 mg/L(濃度公比： $\sqrt{10}$)
及び対照区
- 8) 試験液量： 約1.8 L／容器×4容器／1試験区
- 9) 照 明： 16時間明／8時間暗
- 10) 水 温： 20 ± 1℃
- 11) 試験液中の被験物質の分析： 高速液体クロマトグラフィー(HPLC)
(0, 4, 7, 14及び21日目)

結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの50%致死濃度(LC50)
= 0.0306 mg/L(95%信頼区間：0.0219 ～ 0.0438 mg/L)
- 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度(ErC50)
= 0.0658 mg/L(95%信頼区間：0.0600 ～ 0.0721 mg/L)
- 3) 最大無作用濃度(NOECr) = 0.0126 mg/L
- 4) 最小作用濃度 (LOECr) = 0.040 mg/L
(上記濃度は、全て設定値に基づく値)